

せとうち DMO NEWS

地域や事業者の皆さまにせとうちDMOについて理解を深めていただけるよう活動状況や観光関連情報を毎月お届けしていきます。

Japan's Inland Sea,
SETOUCHI

Vol.
102

“Japan's Inland Sea, SETOUCHI”
世界に評された瀬戸内



ABOUT US

「多島美」と呼ばれるキラキラと輝く海と大小700以上の島々、そしてそこに暮らす人々とともに息づき豊かな恵みをもたらす里山が織りなす景色、せとうち。

わたしたちせとうちDMOはその恵まれた資源を「せとうちブランド」として確立し、地域経済活性化や豊かな地域社会の実現を目指し活動しています。

その実現のため、せとうちエリアの自治体・観光関連事業者をはじめとする地域の皆さまと共に連携し、地域一丸となってせとうち広域での観光振興に取り組んでまいります。

せとうちDMO

発行日：2024年12月26日

発行：せとうちDMO

発行人：小原・京極

住所：広島市中区基町10番3号

せとうちDMO

<https://setouchitourism.or.jp/ja/>

SETOUCHI REFLECTION TRIP

<https://www.setouchi.travel/en/>

瀬戸内Finder

<https://www.setouchi.travel/jp/>

西バルカン諸国及びギリシャ共和国の観光施策実務者の皆様がせとうちへ

11月21日(木)～11月22日(金)にかけて、外務省の「戦略的実務者招へい事業」の一環で、西バルカン諸国およびギリシャ共和国から観光政策関係省庁の実務者7名が観光政策の研修のため、せとうち地域にお越しになりました。

せとうち地域では広島県尾道市及び愛媛県の上島町を視察され、STAの坂元本部長・SBCの吉原部長が事業説明や広域観光に対するブリーフィングを実施しました。

(外務省：戦略的実務者招聘事業について)

<https://www.mofa.go.jp/mofaj/gaiko/culture/hito/shouhei.html>



▲ 事業説明 (広島市)



▲ 事業説明 (尾道市)

今回招請された皆さまはせとうち地域への関心度が高く、観光情報の発信方法やPR方法など様々な方面でのご質問をされていました。今回得られた知見等を活かしつつ、引き続き関係各所と連携を図りながら、せとうち地域への誘客に努めてまいります。

<視察場所>

11月21日(木)：尾道市役所、千光寺、Ryokan 尾道西山、瀬戸田地域(しおまち商店街)など

11月22日(金)：上島海の駅、岩城物産センター、生名橋、弓削大谷、インランド・シー・リゾートフェスパなど



▲ 視察の様子 (尾道市)



▲ 視察の様子 (上島町)

全国広域DMO政策研究会に参加しました！

本研究会は、広域連携DMOが、観光立国の実現に重要な役割を果たすとの認識の下、各広域連携DMOの目標や事業についての情報共有や意見交換を通じて、各広域連携DMOの主体的な活動を一層推進とともに、観光庁および日本政府観光局（JNTO）など関連観光団体との連携・協力を強化することを目的としています。今回、機構職員2名が以下の日程で参加しました。

○開催日：2024年11月25日（月）

○開催場所：北海道札幌市

○参加者：全国10の広域DMOの代表者並びに担当（せとうちDMOから坂元本部長、木本EMの2名が参加）

オブザーバーとして、観光庁、JNTO、北海道運輸局、北海道庁の各部長が参加

研究会の内容

(1)札幌市内視察：市内ワイン醸造施設(LIBERA WINE TERRACE)の視察

- ・理念：障がい者の雇用（2/3の従業員が障がい者）で尊厳を持って生きられる社会の実現
- ・運営方針：安全な職場環境と、安心できる品質管理

(2)広域連携DMO政策研究会

会場：Com Terrace（コムテラス）

○議事

- ・北海道観光機構の取組の共有
- ・各DMOからの近況・課題報告等



4 DMO連携Greater WEST JAPAN会議に参加しました！

4DMO（関西観光本部・山陰インバウンド機構・四国ツーリズム創造機構・せとうち観光推進機構）がパートナーとして、観光振興を中心に綿密な連携を図り、関西、中国及び四国での訪日外国人旅行者による観光消費額の拡大と持続可能な観光を推進し、わが国の観光立国施策に貢献し、地域の発展を図るために会議を行っており、今回機構職員2名が以下の日程で参加しました。

○開催日：2024年11月29日（金）

○開催場所：鳥取県米子市

○参加者：4DMOの代表者並びに担当（せとうちDMOから坂元本部長、木本EMの2名が参加）

会場：米子コンベンションセンター

○議事

- ①前回国議の振り返り
- ②共通ランディングページに関する継続協議
- ③2024年度予算
- ④次年度以降の連携会議の方向性
- ⑤各DMOからの近況・課題報告
- ⑥4Qの会議スケジュール



「Setouchi Vélo協議会 尾道会議」に参加しました。



サイクリングを通じた瀬戸内地域とその周辺地域の発展を目指す「Setouchi Vélo協議会」の総会として、広島県で11月8日(金)に開催された「Setouchi Vélo協議会 尾道会議」に構成団体として参加してまいりました。

①「Setouchi Vélo協議会」とは(HP:<https://setouchivelo.jp/>)

(1) 協議会の概要

瀬戸内地域とその周辺地域を世界にも認められる「サイクリングの推進エリア」に育て、瀬戸内地域のブランド価値の向上および持続的な地域振興を目指して設立された協議会です。2022年発足以来、瀬戸内地域の行政区分を超えたサイクリングルートのネットワーク化やサイクリングの推進エリア化に向けた取り組みを実施しています。

(2) 組織体制について

瀬戸内地域とその周辺地域の9県(兵庫県・岡山県・広島県・山口県・鳥取県・徳島県・香川県・愛媛県・高知県)の他、地方の運輸局・整備局・経済産業局・経済連合会・広域DMO、および本州四国連絡高速道路株式会社などの23団体が「構成団体」として加盟し、その9県下の市町村を中心とする56団体が「参加団体」として加盟しています(2024年11月時点)。せとうちDMOはそのうちの「構成団体」として所属しています。

②「Setouchi Vélo協議会 尾道会議」の概要

(1) 開催日時:2024年11月8日(金)13:00~19:50

(2) 行程

1. トライアルライド

時間:13:00~16:10(3時間10分)

概要:三原港から佐木島、因島、向島のルートを経由し、船とサイクリングで周遊。地域のサイクリングルートを実際に体験しました。



2. 総会

時間:16:45~17:25(40分)

概要:向島の会場にて、今期の活動報告と来期の活動計画をそれぞれ発表した他、ハンドオーバーセレモニーとして、前会長の香川県知事から新会長の広島県知事に盾が引き継がれました。



3. 記念講演

時間:17:40~18:20(40分)

概要:国土交通省 道路局 自転車活用推進本部 事務局次長および、自転車メーカー世界最大手の株式会社ジャイアントの商品部長より、講演が行われました。

4. レセプション

時間:18:50~19:50(60分)

概要:「Ryokan尾道西山」にて、各知事らの参加のもと実施されました。

引き続き、様々な関係者の皆さまと密接に連携を図りながら、瀬戸内地域の魅力の向上に努めてまいります。

クルーズに関する海外調査報告③イスタンブール編

11月号に引き続き、観光庁「地方における高付加価値なインバウンド観光地づくり」事業の一環で実施したクルーズに関する海外調査の報告をいたします。今回はトルコの港町「イスタンブール」で行った船舶会社など3件へのヒアリング調査と街並み調査の内容となっています。

【調査期間】2024年9月18日～28日

【調査対象エリア】右記の3都市



①船舶会社「TURYOL」

②船舶会社「DENTUR」

イスタンブールのクルーズはボスポラス海峡クルーズとプリンス諸島クルーズが人気でクルーズの中核企業はいずれもこの2商品を販売している。

■集客について

・原則エージェントから。取引先は300～400社。手数料は50%を支払っているが、それでも役割を分担し自社では運航に専念した方が効率が良い。

■料金設定について

・ボスポラス海峡もプリンス諸島のクルーズも船の料金は、地元民・観光客共に同じ値段。

■港湾設備について

・ガラタポートは建設会社と政府の官民共同プロジェクトでレストラン、ホテル、ショッピング等整備され、BOT方式で運営されている。

■環境に関する取組みについて

・給油やゴミを捨てる場所など規制があり、全て政府が管理している。

■観光船の運航について

・クルーズ商品はタビマエに売ることが重要、ターゲット国現地でタビマエに売った方が良い。

・何よりも大事なのはエージェントのパッケージ商品にクルーズツアーを入れてもらうことである。

・船にお客様を乗せるのは食事つきで3時間が限界。3時間超えるなら一度寄港するなどの工夫が必要。景色は5分で飽きると言われているため、20分に一度食事がエンターテインメントか寄港を挟む必要がある。



【「TURYOL」での面談の様子】



【「DENTUR」での面談の様子】

③トルコプロモーションエージェンシー

トルコ政府のトルコ観光広報・開発庁内にある組織。

■事業概要について

・2020年に設立、国の観光プロモーションの80%を担っている。
・全て外国に向けた広報を行っている。

■港湾設備について

・地域を再生させる意味合いもあり、大きなクルーズを誘致するためにガラタポート整備された。複数のクルーズが寄港すると、エリア毎に自動的に壁を作って、クルーズ客を分けることができる。

■港湾規制について

・船の運航は全て時間で区切られて管理されている。

■クルーズ観光について

・トルコのクルーズはインバウンドの利用がほとんどで、アメリカ、ヨーロッパの人が多い。

■クルーズ船の誘致について

・寄港する2～3年前から誘致に向けて動いており、エーゲ海に来る船にアポイントを取って営業する。

・トルコは観光地として成熟度が高く、クルーズが寄港できる港は16あり、各々に様々な商品がある。



【面談の様子】

クルーズに関する海外調査報告③イスタンブール編

<街並み観察調査>

イスタンブールの港湾整備、周辺環境、観光動向等について調査。一部を抜粋してご紹介します。

ボスポラス海峡クルーズ



- イスタンブールではボスポラス海峡をクルーズ船で観光するツアーが盛んで、複数の会社がサービス提供している。1時間程度のクルーズの人气が高く、常時運航されている。
- アジアとヨーロッパの境界線となるボスポラス海峡を船上から眺めることができ、イスタンブールの海峡沿いの風景やモスクなどの観光名所を楽しむことができる。
- ホテルやレストラン・カフェ、建物はすべて海峡側を正面にしており、海からの出入りが盛んであることが伺える。

ターキッシュナイトクルーズ



- ナイトクルーズについては、イスタンブールでボスポラス海峡をクルーズしながら、伝統舞踊やベリーダンスパフォーマンスなどを鑑賞するツアーが盛んで、トルコの伝統料理のディナーが付いているプランも人気がある。
- 365日運航されており、稼働率も高い。調査当日もほぼ満席。
- 1隻あたり1～2階で200～300人程度。飽きさせないために20分に一度アトラクションがあるなどの工夫あり。
- 20:30～23:30実施のため、終了後は各方面のホテルへの送迎も手配されている。

港湾周辺整備



- アジア・欧州側をつなぐガラタ橋の下は歩行可能になっており、オープンテラスのレストランが並び、船の往来をみながら食事が可能で多くの観光客で賑わっている。乗船場所に留まらず、港が賑わいの拠点となっている。



- エミニョニュ港周辺には、屋台形式のトルコのパン（シミット）やサバサンドなど軽食も販売されており、地元の人も含め船の待ち時間に利用されている。

クルーズの受入整備（ガラタポート）



- ガラタポート（Galataport）という先進的なクルーズターミナルが改修され、観光や物流のハブとして重要な役割を果たしている。
- 最大3隻の大型クルーズ客船の受入が可能で、最新のセキュリティシステムやチェックイン設備が整い、大規模なクルーズ船もスムーズに運用ができる。
- ガラタポートは交通アクセスが良く、港内に五つ星ホテル、高級ショップ、レストラン、カフェ、美術館などが併設されており、観光客が楽しめる施設が充実している。

◆2024年12月の新規せとうちブランド登録商品について

2024年12月、せとうちブランド登録商品として新たに3社4商品を登録しました。これにより、せとうちブランド登録商品は累計373事業者1,198商品が登録されたこととなります(販売終了商品を含む)。

せとうちブランド登録制度では、せとうちエリア特有の「自然(島や内海)」「食」「歴史」といった資産をもとに、創意工夫によって開発され、せとうちブランドのアイデンティティを体現するような商品を登録基準に基づき、せとうちブランドの商品として登録しております。これにより「せとうち」のブランド価値を向上させ、広く国内外に認知が広まることを目指しています。

せとうちブランド登録制度について

<https://setouchitourism.or.jp/ja/service/product/>

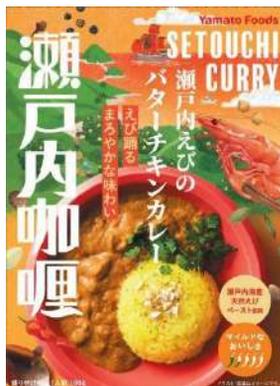


2024年度せとうちブランド登録商品【新規】12月登録商品

① ヤマトフーズ株式会社

- ・ 瀬戸内えびのバターチキンカレー

トマトの酸味とバターのコクに、まるごとペーストにした瀬戸内海産天然海老の甘味と旨味がとけこんだ、味わい深いマイルドなカレーです。



② 株式会社福山コープ

- ・ 瀬戸内ゆずレモン玉子とうふ

2025年3月1日販売予定

卵の風味豊かな福山コープこだわりの玉子とうふに、瀬戸内産のレモンピール・ゆず果汁・レモン果汁を使用した「ゆずレモンたれ」を付属。暑い夏にピッタリな、酸味の中に旨味広がる味わいに仕上げました。



③ 株式会社有馬芳香堂

- ・ 白・黒だいずとカリカリ小魚 50g/120g

北海道産黒大豆と北海道産の大豆を浸漬し、心地よいさくさく食感に煎り上げました。栄養バランスにも、食べ合わせのよい小魚をプラス! お子さまや女性に不足しがちなカルシウムが大豆イソフラボンとともに手軽に摂れるおいしいおやつ。瀬戸内産こぎかなをカリッと炊き上げた食感も楽しめて、ヘルシーでギルトフリーなおやつです。



- ・ 香ばし蜂蜜バターアーモンド 瀬戸内レモン味

2025年3月1日販売予定

瀬戸内レモンの爽やかな味わいが香る、キュンと甘ずっぱい『瀬戸内レモンの爽やかな味わい 香ばし蜂蜜バターアーモンド 瀬戸内レモン味』が大人気の『香ばし蜂蜜バターナッツ』の姉妹品として登場! 蜂蜜でコーティングした香ばしいアーモンドが瀬戸内レモンのジューシーさと絶妙にマッチ。爽やかなせとうちの風を思わせるスッキリとしたあと味がたまらない!



せとうちアカデミー報告

第117回：成功・失敗事例に学ぶ 地域素材を活かした“売れる”『商品開発』の方法

成功・失敗事例に学ぶ 地域素材を活かした
“売れる”『商品開発』の方法

商品開発をしたいけど、どのように進めていいかわからない。
商品開発をしたけど、販路を作るのに困っている。
新商品を投入してから、継続的に販売をしていくのが難しい。
そのようなお悩みを持った方を対象にセミナーでした

今回のせとうちアカデミーでは、
過去のたくさんの成功事例・失敗事例から、
継続的に売れて関係各所が利益を得る事ができる
ご当地商品開発のエッセンス・各企業の事例を交え
リアルタイム限定でご紹介いただきました。

◆講師：株式会社天創堂 代表取締役 粕井健次 氏

<https://www.tensodo.co.jp/>

◆日時：2024年12月5日(木) 14:00～15:00

成功・失敗事例に学ぶ
地域素材を活かした
“売れる”『商品開発』の方法

2024年12月5日

TENSODO
天創堂株式会社
代表取締役 粕井 健次

重要なポイント

TENSODO

1勝9敗でOK

ほとんどの新商品が出ては消えていきます。
一時期売れていても売れなくなることもしばしば。
とにかく失敗を良しとして、新しい価値を生み出し
ていくことが重要。



第118回：丸亀城城泊（丸亀城キャスルエクスペリエンス）をきっかけとした丸亀観光の新しい魅力の発信

昨今、全国のお城で城泊の開業が相次いでいます。
せとうちエリアでも愛媛県の大洲城、広島県の福山城で、「お城に泊まれる」特別体験の提供が進んでいる状況です。

2024年7月、香川県丸亀市にて、木造の天守を頂く丸亀城での
「丸亀城キャスルエクスペリエンス」という歴史・文化の観光体験がスタートいたしました。

2020年から城泊に取り組み、城泊をアイコンに歴史的な建物を活用した施設整備を模索し、滞在型観光を進めておられる、本事業についてのお話をいただきました。



◆講師：一般財団法人丸亀市観光協会
事務局長 山田哲也氏

◆日時：2024年12月19日(木)
14:00～15:00

